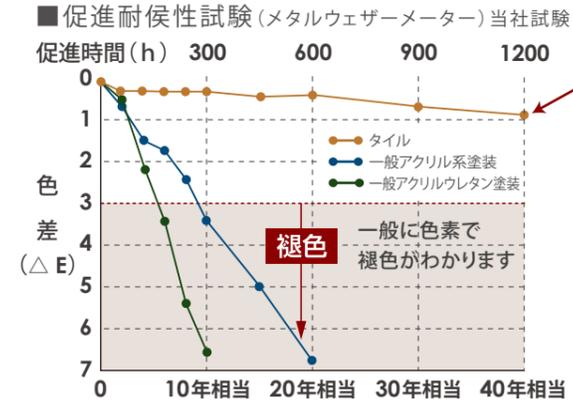
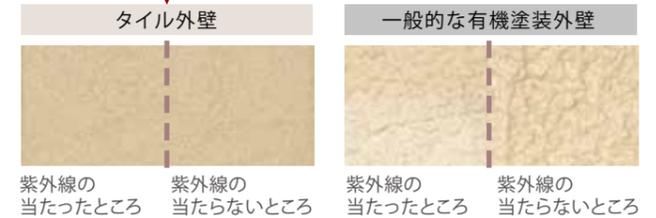


01 優れた耐候性で新築時の美しさ長持ち

一般的な有機系塗装外壁材で見られる色あせ劣化は、主に紫外線の影響によるものです。無機質セラミックのタイルは、色あせがほとんどない実験結果です。



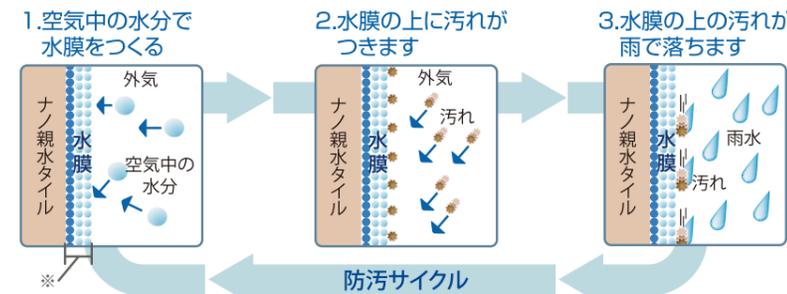
タイルは色あせ(褪色)がほとんどなく、塗り替えメンテナンスの手間もかかりません!



02 住宅外観の美しさをいつまでも保つタイル外壁!

「ナノ親水」の防汚性能基準をクリアする外装壁タイルは、汚れにくく雨で汚れが落ちやすい外装材です。

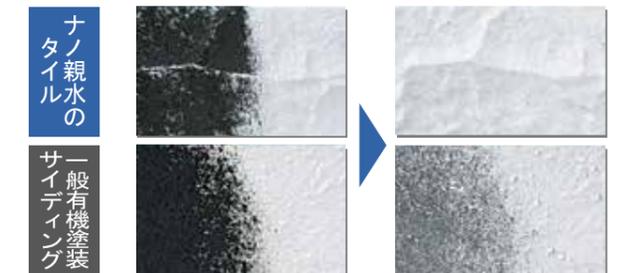
【汚れにくさのメカニズム】



※水膜は数〜数十ナノメートル(1ナノメートル=10億分の1メートル。水分子1個は、約0.38ナノメートル。)

【防汚実験】

自社防汚性能測定実験結果より



汚れ物質をふりかけ付着させた状態。ここに雨が降ったと想定して散水します。散水後、ナノ親水のタイルは汚れが落ちやすいことが分かります。

LIXILのタイル外壁は、少ないメンテナンスで美しさが長続きします!

一般的な有機系塗装外装材の場合、塗り替えメンテナンスの費用と手間がかかります



築年数が経つと、雨筋汚れやシミ、紫外線による色あせも見られるようになります。

紫外線などによる塗装の劣化で手に粉が付くようになります。

塗り替えの際には1週間ほど足場を組み周囲のご近所へ養生などを行う必要があります。

汚れにくい



塗装部分には、雨だれ汚れが見られますが、タイル面は新築後一度も洗浄などを行っていませんが、目立った汚れはありません。

色あせしにくい



2階の塗装外壁は新築後10年程度経過したところから、粉っぽくなり10年ごとに塗替えが必要ですが、タイル面は色は色褪せの心配がほとんどありません。

キズがつきにくい



1階の基礎部では、荷運びの際に壁面を擦ってしまい、水切り部材の塗装が剥げ、擦り傷が残ってしまいましたが、タイル面は目立ったキズはついていません。